

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道141号 ながとろ みかげしんでん 長土呂～御影新田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県佐久市大字長土呂 ながのけん さくし おおあぎながとろ 至：長野県小諸市大字御影新田 ながのけん こもろし おおあぎみかげしんでん	延長	2.4km		
事業概要	<p>一般国道141号は山梨県韮崎市を起点とし、長野県上田市に至る延長約9.2kmの幹線道路である。 長土呂～御影新田バイパスは、現在暫定2車線で供用しているバイパス区間の渋滞解消を目的とした佐久市長土呂～小諸市御影新田間の延長2.4kmの4車線化現道拡幅事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>当該区間においては、近年交通増のため、渋滞の発生や交通事故が多発している。また、平成18年には中部横断自動車道のICへの接続が決定し、さらなる交通の増加が見込まれることから、4車線化整備を行い、渋滞解消を図るものである。</p>				
全体事業費	12億円	計画交通量	20,000台/日		
事業概要図	<p>全体計画 L=2,400m W=13.0(25.0)m C=1,200百万円</p> <p>四車線化完了区間</p> <p>小諸市御影新田、小諸市、佐久市、佐久市長土呂</p> <p>国道141号、国道141号バイパス、国道141号</p> <p>中部横断自動車道（新直轄方式）佐久JCT～佐久南IC整備中</p> <p>北陸新幹線、上信越自動車</p> <p>未買収地 L=40m</p> <p>一級河川 湯玉川、一級河川 湯玉川</p> <p>至佐久市</p> <p>佐久平駅</p> <p>（市）千曲ビュースタイン</p> <p>（市）グリーンロード</p> <p>平原高架橋</p> <p>県道借宿小諸線</p> <p>117 センサス 17,854台/日</p> <p>ひらばら駅</p> <p>一級河川 湯玉川</p> <p>一級河川 湯玉川</p>				

関係する地方公共団体等の意見

平成18年5月 佐久市長、小諸市長より早期改良の要望あり。
平成19年4月 小諸市長より早期改良（渋滞部分の局部改良）の要望あり。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている。
円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	6.6	総費用：13億円 （事業費：11億円 維持管理費：2.8億円）	総便益：89億円 （走行時間短縮便益：82億円 走行経費減少便益：6.5億円 交通事故減少便益：0.00億円）	基準年 平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=4.7 (交通量-10%)	B/C=7.0 (交通量+10%)	
		事業費変動	B/C=5.8 (事業費+10%)	B/C=6.8 (事業費-10%)	
		事業期間変動	B/C=6.2 (事業期間+2年)	B/C=6.4 (事業期間-2年)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	<p>ボトルネックとなっている区間の渋滞の緩和</p> <p>【渋滞損失時間の改善】通過速度35.4km/h→45.5km/h 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】4.9万人時間/年km 【その他の特徴】朝夕の通勤時間を中心に美南交番前交差点にて最大渋滞長が約700mに達し、日常的に混雑が発生</p>	
	社会全体への影響	事故対策	○	<p>長野県管理道路の平均死傷事故率の2倍以上の区間の事故の減少が見込まれる。</p> <p>【死傷事故率】759件/億台km (死傷事故率比(県内平均比) = 約1.1倍)</p>	
		歩行空間	◎	片側歩道を両側歩道に整備し、一層の完全確保を図り、良好な歩行空間を創出する	
		住民生活	○	住民の重要な生活道路、通勤道路であり、その整備が強く望まれている。	
	地域経済	◎	中部横断自動車道の整備と併せ、地域経済の振興、特に分譲中、計画中の流通業務団地の整備を支援する。		
	災害	◎	緊急輸送路（第一次）に指定されている。		
	環境	○	観光地内でもあるため、周囲に残された自然林を極力残すようにし、周辺環境との調和を図る。		
地域社会	◎	永年に亘り地域と協議し、全体計画15.4kmのバイパス計画具現化している。一部を除いて用地の取得も完了している。			
事業実施環境	◎	交通増に伴い渋滞、交通事故の発生も増えており、また平成18年に中部横断自動車道のIC接続が決定されたため、実施に向けての地元の期待が高まっている。			

採択の理由

費用便益比が6.6と便益が費用を上回っており、事業選択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所の現況渋滞損失時間及び事業実施による効果はともに大きく、渋滞対策の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。